

## 六甲山再度公園のキノコの出現傾向について ～地域連携から伝える生物多様性～

兵庫県立御影高等学校環境科学部生物班

3年 中原 雨音

### はじめに

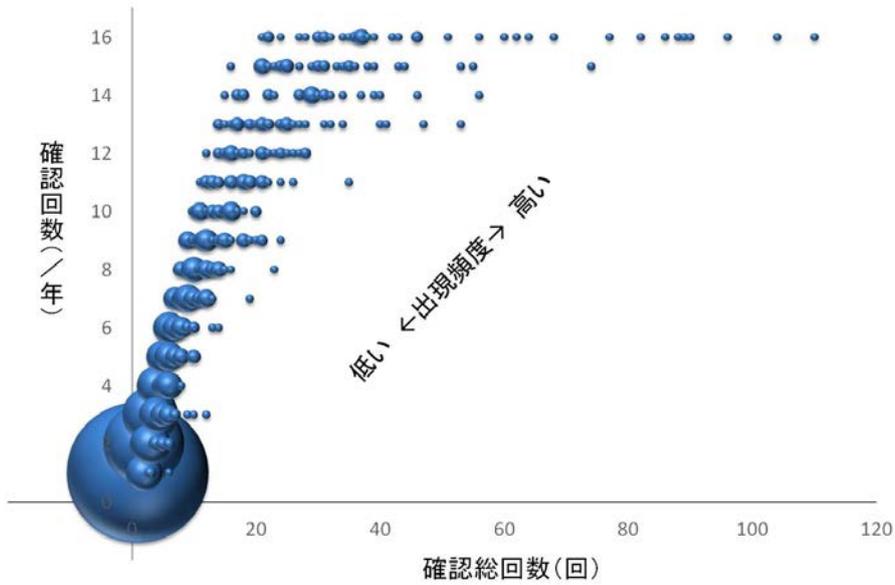
本校では平成20年度から兵庫県立人と自然の博物館・兵庫きのこ研究会・神戸市立森林植物園と協力しながら六甲山系のキノコの調査を行っている。主に六甲山の再度公園（ふたたびこうえん）のキノコの多様性を標本作成や生態分析から明らかにし、外部発表を通して生物多様性を多くの人に伝えることが活動の目的である。本年度は標本の展示公開から「見える」多様性を、過去16年間のモニタリングの解析から「測る」多様性を、博物館や植物園などでの企画展で多くの人に伝えていきたい。

### 方法

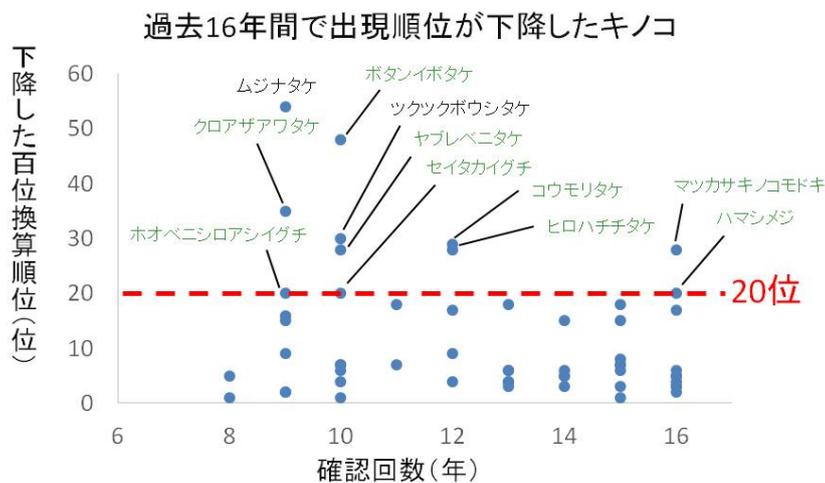
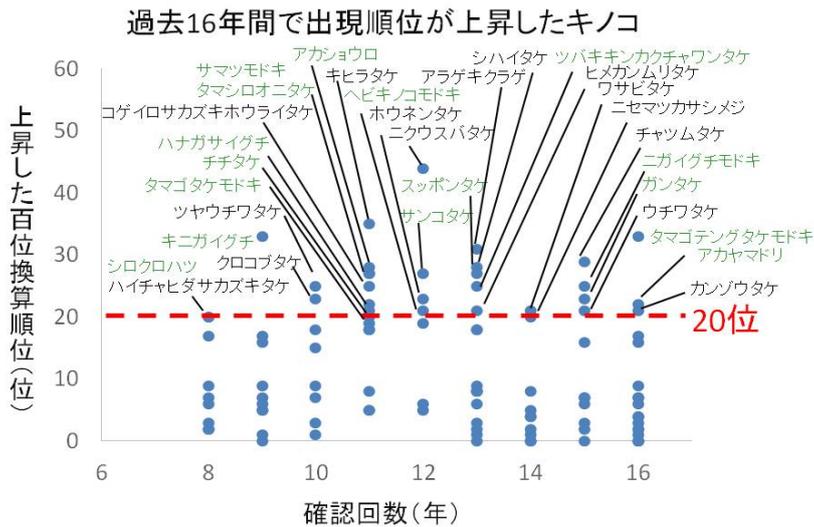
- ① 採取したキノコの標本化
- ② 過去16年間の観察記録から、各キノコの年度内での出現順位の移動平均をもとめ、菌根菌、腐生菌別、属、科の系統別に出現推移に変化が見られるか分析する。
  - ・エクセルのピボットテーブル機能で、16年間の全キノコの出現頻度を求める
  - ・出現カウントが8～16年のキノコを選出する
  - ・上記のキノコの3年間の年度順位の移動平均をとりグラフ化する
  - ・変動幅が20位以上のキノコを取り上げ考察する。
- ③ 外部発表
  - ・7月16日（日）  
Kino1グランプリ2017での展示（渋谷TBSハウジング）
  - ・9月10日（日）～12月15日（金）  
六甲山のキノコ展2017での展示（神戸市立森林植物園）
  - ・9月24日（日）  
キノコフェスタ2017でイベントを行い、集客を高める（神戸市立森林植物園）
  - ・1月6日（土）～1月8日（月）  
六甲山のキノコ展2018での展示（御影クラッセ ユースプラザ KOBE EAST）
  - ・2月11日～  
六甲山のキノコ展2018での展示・研究発表（兵庫県立人と自然の博物館）

### 結果

- ① 採取キノコの標本化
  - ・本年度は森林植物園で採取されたカエンタケの標本化に成功した。現在県立人と自然の博物館で公開中である。
- ② 出現頻度の推移
  - ・エクセルのピボットテーブル機能を複数回利用し、過去16年間の出現傾向を分析した。



- ・上記のグラフをもとに確認回数が8～16年のキノコを抽出し、移動平均を調べた。変動順位が20位以上のキノコを菌根菌と腐生菌に分けてグラフにまとめた。



③ 外部発表報告

7月16日(日)

・kinol グランプリ 2017



東京渋谷の TBS ハウジングセンターで開催された、キノコの卸問屋バイオコスモ k k 主催の「KIN01 グランプリ 2017」で、六甲山系のキノコの多様性を標本やポスターなどで、六甲山のキノコの多様性を多くの人に伝えた。今年度はキノコの香り体験、キノコクイズ、キノコキーホルダーを作るワークショップなど体験型の展示を心掛けた。また前日に再度公園で採取した生のキノコ約30種も展示し、生きているキノコの美しい色も見ていただいた。本校のブースだけでも数百人の訪問があった。

9月10日(日)～12月15日(金)

・六甲山のキノコ展 2017 での展示 (神戸市立森林植物園)



9月24日(日)

・キノコフェスタ 2017 でイベントを行い、集客を高める (神戸市立森林植物園)

神奈川県キノコ問屋「バイオコスモ KK」さん、京都のキノコアーティスト「オガサ

ワラミチ」氏、都内のキノコ小物販売「喫茶きのこ」さんなどにお越しいただき、各ブースを開設するとともにキノコ汁の無料販売、キノコスケッチ教室など実施した。さらに本校の弦楽部による「キノココンサート」、茶道部による野点を行い、イベントの集客効果を高めた。その結果、1日で1200名以上の来園者がみられ、イベントを楽しんでいただきながら、キノコ展もご覧いただくことで多様性を伝えることができた。





1月6日（土）～1月8日（月）

・六甲山のキノコ展 2018 での展示（御影クラッセ ユースプラザ KOBE EAST）



2月11日～

・六甲山のキノコ展 2018 での展示・研究発表（兵庫県立人と自然の博物館）



## 考察

キノコには種数の多さや色・形・大きさなどの「目に見える多様性」と、好んでいる環境や気象条件の感受性などの「目に見えない多様性」があり、これらの多様性が豊かな森林環境の維持に役立っている。生物種の絶滅を防ぐためには、その生物だけを守るのではなく、生物の生きる生態系の維持こそが重要で、キノコはそのバロメーターであると考えられる。本年度は、森林植物園でのキノコフェスタを中心とした、地域とのさまざまなイベントを通して豊かな自然の保持には多様性が重要であることを多くの人に伝えることができた。また御影高校が拠点となって、神戸市の豊かな森林環境を伝えながら地域の活性化に貢献できたと思われる。なお本年度は、私たちの活動はCOP10（国連生物多様性条約第10回締約国会議）の愛知ターゲット達成のための活動の一つ、「にじゅうまるプロジェクト」として認定され、ロゴの使用を認めていただきながら普及活動に努めている。さらに12月は生物多様性アクション大賞2017の最終選考まで残り、決勝戦出場は果たせなかったが、「セブンイレブン記念財団特別賞」を受賞し、東京ビッグサイトで発表するとともに地域との協働による生物多様性の普及活動を表彰していただいた。

<http://5actions.jp/award2017/result.html>

